

未使用はがきを市に寄贈

郵便将棋のはがき、使ってください

3 / 19



市内在住の河端隆さんが、昨年に続き未使用の官製はがき 2,000 枚を市に寄贈しました。河端さんは、郵便はがきに一手を書いて送り合う「郵便将棋」の愛好家。昭和 55 年から続けていますが、最近では対戦相手が年々減少。使わなくなったはがきを有効活用してもらおうと、市への寄贈をはじめました。

ドイツと日本の懸け橋として 50 年

独スポーツ少年団の高橋範子さん来訪

3 / 25



長年にわたり日本とドイツの青少年のスポーツ交流などに携わってきた高橋範子さんが来日。一昨年に二場公人市長がドイツを訪問した際、高橋さんが視察の案内役を務めたことで縁ができ、本市への来訪に繋がりました。高橋さんは「異国の文化を感じることは、子どもたちの成長に必要なことです」と語りました。

丸山公園に桜を

田川ロータリークラブが寄付

4 / 4



田川ロータリークラブが、丸山公園への桜の植樹費として 30 万円を市に寄付しました。丸山公園は、本市の美しい街づくりの一環として、四季折々の花が咲く公園として整備を続けています。同団体の徳野康博会長は「丸山公園がより美しい名所になり、田川の活性化に繋がれば嬉しい」と語りました。

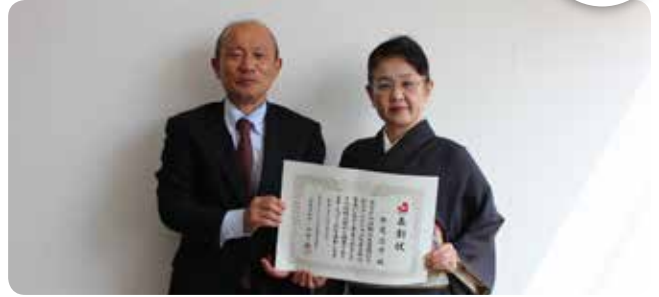
エール YELL ～輝くあなたを応援～

スポーツや芸術、ボランティア活動などさまざまな分野で活躍する人たちが、市長への表敬訪問のため市役所を訪れています。輝かしい功績や寄贈された作品などを、表敬の様子とともに紹介します。

長年にわたり地域の読書活動を推進

青少年アンビシャス運動で表彰

3 / 22



子どもたちの能力や可能性を伸ばすための県民運動である「青少年アンビシャス運動」の個人表彰を、牛尾淳子さんが受賞しました。牛尾さんは、読書ボランティア団体「子どもの文化研究会」の代表として地域の読書活動の推進に尽力。吉柳啓二教育長に受賞を報告し「今後も末長く活動したい」と意欲を語りました。

25 年目の感謝の気持ちを込めて

コンサートの収益金を市に寄付

4 / 8



チェロ奏者として活躍している本市在住の加治誠子さんが、3月3日に開かれた「耳の日チャリティーコンサート」の収益金 13 万 2,000 円を市に寄付しました。阪神大震災をきっかけに加治さんが始めた同コンサートは、本年で 25 年目。市立図書館には寄付金で揃えられた朗読 CD などのコーナーが整備されています。